

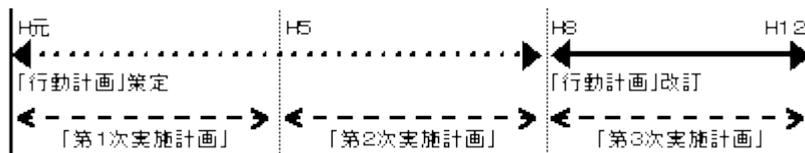
2. 女性施策行動計画の進捗状況等について

1. 計画策定の経過

本市では、女性問題の解決に向けた施策を進めていくため、平成元年(1989年)に女性施策の指針となる「枚方市女性施策行動計画」(以下「行動計画」という。)を策定し、あわせて「行動計画」に基づく具体的な取り組みの名称や内容を明らかにする「実施計画」を同時に策定しました。

そして、「第1次実施計画」(平成元年(1989年)～4年(1992年))、「第2次実施計画」(平成5年(1993年)～7年(1995年))に基づき施策を進めてきましたが、平成7年(1995年)の「育児・介護休業法」制定や、不況に伴う女性の就業難など、「行動計画」を取り巻く社会環境が変化したことを踏まえ、「行動計画」自体の見直しを再度行ない、平成8年(1996年)に「行動計画」の改訂版とこれに基づく「第3次実施計画」(平成8年(1996年)～12年(2000年))を策定しました。

《行動計画・実施計画策定期間・計画期間》



- 平成元年：「行動計画」策定
- 平成8年：「行動計画」改訂
- 平成元年～平成4年：「第1次実施計画」
- 平成5年～平成7年：「第2次実施計画」
- 平成8年～平成12年：「第3次実施計画」

2. 計画の内容

「行動計画」では、以下の4つの基本目標を掲げ、その下に課題(23課題)を設定しています。「実施計画」

では、この課題に対する具体的な取り組み(53項目)を設定しています。

(4つの基本目標)

1. 女性労働者の権利保障と働く職場での性差別の解消(労働)
2. 性差別と性別役割分担を解消し個性を育む教育の推進(教育)
3. 女性の健康と福祉の向上(保健・福祉)
4. 女性施策の総合的な推進(総合施策)

3. 主な計画の進捗状況

「実施計画」については、毎年 1 回、関係行政分野を対象に進捗状況の把握を行なっています。現在は、「第 3 次実施計画」の計画期間であり、平成 11 年度(1999 年度)までの進捗状況の把握を行なっています。主な取り組みの進捗状況については、次のとおりです。

I 女性労働者の権利保障と働く職場での性差別の解消(労働)

(1) 一時保育実施保育所の増設

保護者の勤労形態の多様化、傷病等に一時的に対応するため、平成 4 年度(1992 年度)に 1 カ所で開始。以後、平成 6 年(1994 年)、9 年(1997 年)、10 年(1998 年)にそれぞれ 1 カ所ずつ増設し、利用者も増加しています。

一時保育実施保育所の数と利用者人数一覧

年度	平成 5 年度	平成 6 年度	平成 7 年度	平成 8 年度	平成 9 年度	平成 10 年度	平成 11 年度
保育所数	1 カ所	2 カ所	2 カ所	2 カ所	3 カ所	4 カ所	4 カ所
利用者数	493 人	1,208 人	1,156 人	1,162 人	3,177 人	4,060 人	7,506 人

(2) 枚方市役所における女性役職者(主査以上)への登用

平成元年(1989 年)4 月時点での、女性役職者(主査以上)は 76 人、割合にして 10.6% でした。近年の役職者総数の増加により、女性役職者の割合はあまり上昇していませんが、人数は 131 人に増加しています。

補職別女性の割合一覧(平成元年)

補職名	全体	男性	女性	女性の割合
理事	2 人	2 人	0 人	0.0%
参与	4 人	4 人	0 人	0.0%
部長	16 人	16 人	0 人	0.0%
参事	14 人	13 人	1 人	7.1%
次長	18 人	18 人	0 人	0.0%
副参事	20 人	20 人	0 人	0.0%
課長	56 人	56 人	0 人	0.0%
主幹(課長待遇)	14 人	13 人	1 人	7.1%
主幹	40 人	40 人	0 人	0.0%
課長補佐	125 人	120 人	5 人	4.0%
副主幹	13 人	12 人	1 人	7.7%
係長	155 人	125 人	30 人	19.4%
主査(係長待遇)	34 人	29 人	5 人	14.7%
主査	204 人	171 人	33 人	16.2%
合計	715 人	639 人	76 人	10.6%

補職別女性の割合一覧(平成 11 年)

補職名	全体	男性	女性	女性の割合
理事	6 人	6 人	0 人	0.0%
参与	0 人	0 人	0 人	0.0%
部長	19 人	19 人	0 人	0.0%
参事	24 人	21 人	3 人	12.5%
次長	33 人	32 人	1 人	3.0%
副参事	49 人	48 人	1 人	2.0%
課長	41 人	38 人	3 人	7.3%
主幹(課長待遇)	55 人	54 人	1 人	1.8%
主幹	39 人	38 人	1 人	2.6%
課長補佐	211 人	191 人	20 人	9.5%
副主幹	18 人	17 人	1 人	5.6%
係長	174 人	139 人	35 人	20.1%
主査(係長待遇)	95 人	87 人	8 人	8.4%
主査	317 人	260 人	57 人	18.0%
合計	1081 人	950 人	131 人	12.1%

II 性差別と性別役割分担を解消し個性を育む教育の推進(教育)

(1) 学校園における混合名簿化の推進

学校園における名簿(出席簿)について、平成 4 年(1992 年)までは男女別で作成していましたが、平成 5 年(1993 年)に男女混合化を実施し、平成 7 年(1995 年)以降、全幼稚園・小学校が男女混合名簿を使用しています。中学校については、男女別の教科があることから、課題整理を行なった上で、平成 8 年(1996 年)に全校で男女混合化しました。また、平成 10 年度(1998 年度)には、全学校園において全ての公簿を男女混合化しました。

(2) 多様性のある教育の推進

小学校においては、5~6 年生の家庭科授業を男女共修で行なっています。中学校においては、技術家庭科を男女共修で行なうとともに、平成 9 年度(1997 年度)から職場体験学習(民間事業所、福祉施設等へのボランティア派遣)を開始するなど、性別役割分担意識の解消に向けた取り組みを進めています。

III 女性の健康と福祉の向上(保健・福祉)

(1) ピアカウンセラーの配置

平成 10 年(1998 年)8 月に開設した総合福祉会館等において、自ら障害を持つ女性のカウンセラー(ピアカウンセラー)を配置し、障害のある女性の生活支援に関する相談業務を行なっています。

(2) 育児・介護教室等の開催

平成9年度(1997年度)には、「妊婦教室」を「両親教室」に、「母子保健講演会」を「母子父子保健講演会」に名称変更するなど、各種講座への男性の積極的な参加を呼びかけています。

両親教室の参加状況一覧

年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度
参加者総数	1,429人	1,758人	1,569人
うち男性	63人	98人	107人

V 女性施策の総合的な推進(総合施策)

(1) メセナひらかた「女性フロアー」の機能拡充

枚方勤労者総合福祉センター内に、女性施策の情報・活動・交流拠点としての機能を有する「女性フロアー」を平成4年度(1992年度)に設置しました。「女性フロアー」では、女性問題に関する図書、ビデオの貸し出し等を行なうとともに、以下の各種相談事業を実施しています。

(注:平成11年度の女性問題学習相談件数の増加は、件数カウント基準の変更に伴う)

(2) 各種審議会等の女性委員の構成比率向上

各種審議会等の委員について、女性委員の積極的な参画を進めることとし、女性委員の構成比率の目標を30%に設定しています。同比率は、平成元年(1989年)時点で17.0%でしたが、平成11年度(1999年度)には28.5%となっており、一定の成果が現れています。

メセナひらかた「女性フロアー」相談件数推移一覧

年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度
労働相談 (開設日:週4日)	112件	117件	118件	127件	88件	178件	172件
法律相談 (開設日:月4回)	102件 (※1)	151件	149件	156件	165件	164件	146件
電話相談 (開設日:週3回 夜間月2回)	143件	214件	427件	738件	726件	698件	674件
女性の生き方相談 (開設日:月3回)	64件	74件	79件	98件	108件	110件	100件
女性問題学習相談 (開設日:毎日)	373件	385件	110件	360件	489件	526件	1621件
からだ&こころの相談 (開設日:月3回)	7件	30件	39件	52件	34件	38件	36件

※1 開設日:月3回